自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール　　R3 年 12 月 2 日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	地域密着型サービスとして地域（入江町内会や光陽小学校等）との交流はあるが、今はコロナにより活動はほとんど無い。理念を実践するように意識しているが、理念の中の１つの（地域の方と顔なじみとなるような関係を築く）という事は結果としては出来ていない。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない (D.) ほとんどできていない	町内会の総会やバーベキューやゴミ拾い、GH 入江からもお祭りや避難訓練など多くの付き合いが本来あるが、今はコロナの為ほとんど出来ていない。	コロナにより仕方ないと思います。コロナ前は出来ていたと思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営会議はコロナにより書面開催となっている。話し合いは出来ていないが、包括さんより毎回ご意見等を書面で頂いている。	Ｂとの評価ですが、充分に出来ていると思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	迷った事やわからない事があればすぐに相談をさせて頂いている。包括さん等からのお願いや協力があればこちらからも協力をする様にしている。	こちらも充分に出来ていると思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間は防犯上施錠を行っているが、他身体拘束を行っていない。会議等でもこれに関しての話をする機会があるが、もう少し学ぶ機会等を作りたい。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ過ではありますが、出来る限りの事は出来ていると思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止に努めてケアに取り組んでいるが、研修等はもう少しやりたい。コロナにより研修自体があまり無い。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修にもう少し出れれば良いと思いますが、コロナが落ち着けばもっと研修にも参加出来るかもしれないですね。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時々研修に参加しているがコロナの影響により最近は出来ていない。後見人を付けている利用者さんは多く居る。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約前から最低でも家族、ホーム長、管理者の３名で説明と話し合いを行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんだけではなく家族さんとも積極的にコミュニケーションを取る様にしていてその時その時の意見や要望を多く聞く事が出来ている。他、目安箱の設置、家族会による話し合いも行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ過で対面はしずらい状況だと思いますが、こまめな連絡や通院時の対面時等でコミュニケーションは多く取れているのではないかと思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内容にもよるが、特に空室状況やデイサービスの利用状況等の話をする事がある。変わりが無ければその様な機会はあまり無い。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	働きやすい環境にする様に努めてもらっていると思う。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特定処遇改善加算等もあるが、待遇は良いのではないかと感じます。離職者の再雇用もあるのと事で、環境は良いのではないでしょうか。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	元々研修の機会は多くあるが、コロナにより研修自体がほとんど無い。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リモート研修参加もあるが、コロナ過により研修が減っているとの事で仕方が無い所もあると思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前はこの様な機会が多くあったが、コロナによりほぼ無くなっている。			

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は個々を尊重した上で介護をしており、職員と本人の関係は良好であり、信頼関係を築けていると思う。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナにより人と会いづらい状況だが、通院やたまに帰宅するなど最低限の外出はしている。他、家族さんへは毎月のお便りと個人ごとに数か月に１度の写真のみのお便りを送っている。ケアの中で思い出してもらう様に接する事も意識している。家族や親せきの人以外との関係性はほとんど皆さん無いと思うが、入所時点からその様な状態である事がほとんどで、グループホーム入所によって関係性が突然切れたという事は無い。	Ｂとの事ですが、充分に出来ていると思います。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GHとして本人の安心と望みに出来るだけ応えられるよう努めて介護をしている。生活上の小さな選択肢でも希望通りになる様務めている。記録の確認や観察も重要視している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族さんと本人の意向と、全職員でモニタリングを行い介護計画を作成している。フロア会議等でも話し合い課題を毎回全て解決は出来ないが、一つずつでも上向き、維持、下降防止には進んでいる事が多い。	介護計画の作成の流れを見ると、しっかりと出来ていると思います。	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務前にしっかりと記録を確認し、その場その場で複数職員で話し合いをしながら臨機応変に対応している。状態によってはカンファレンスで話し合っている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	インフォーマルな事も含め良い方向にいくと思ったことは検討や提案をしている。ご本人の病状等によっては必ずしもグループホームにこのまま入居していて良いのか、という事も検討や提案をするタイミングもある。	これも充分出来ていると思います。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外に関する事はコロナによりあまり考えられなくなっているが、コロナ前は特に町内会のバーベキューに参加する事や小学校のイベント参加が利用者さんの楽しみでもあった。他、床屋さんに来て頂いて散髪をして頂いている。	コロナにより出来ていないという事が多いかと思います。今はあまり出来ていないという事で良いと思います。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前からの主治医に基本そのまま継続して診てもらうが、家族さん、本人の意向や相談があれば他の病院に繋げる支援もしている。本人に異変があった時はすぐに家族さんに連絡し意見を聞く流れも確立されている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんが入居される際や入居中に入院した場合の対応や流れ、他、入院しないでターミナルケアをする場合についての話等もしっかりしていると思う。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の関係者という所では難しい所もあるが、本人、ご家族さんとは早い段階や病状や認知症の進行のタイミング等でよく話している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修等勉強する機会はあるがコロナにより研修が無くなった事と実践の機会は少なく、職員の年数や経験により対応力に差はあり、流れの周知等も完全ではないと思う。夜間の急変時の対応やAEDの訓練をもう少しやっても良いと思う。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な避難訓練で、毎回役割を変えながらやっている。が、最近はコロナ過で積極的に出来ていない部分もある。	コロナ過で積極的に出来ていない所もあるとの事ですが、ほぼ出来ているという事で良いと思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの事を尊重した想いの元、その人に合った接し方を考えている。プライバシーの事は空間の中だけで考えると甘い所もあると思う。言葉掛けに関しても全職員が同じ水準で出来ているとは思えない。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの想いを優先する想いと理念がありここを目指してるが、今時点で100%かと言えばまだ出来ていない事がある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの身体状況に合わせて食形態を変えている。準備、片付けもその人の能力に合わせ出来る事はやって頂き、利用者さんの好物や食べたい物を聞いて一緒に作ったりしている。食事やおやつに関しては皆さん楽しんでいる様子が多い。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの身体状況に合わせて食形態を変えたり、摂取量や栄養バランスの偏りが無い様工夫している。摂取量の記録や好みの物を考えながらメニューを決めたりしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の習慣にも合わせながら食後口腔ケアを行い、自分で出来ない方へは声掛けや介助で行っている。状態によっては協力歯科医院にも関与して頂いている。認知症の状態によっては口腔ケアを出来ない時もあり、無理な声掛け等もしていない。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべくオムツを使わずリハビリパンツを使う事と、なるべく自力排泄できる様に考えている。活動や水分、栄養摂取のバランス、主		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる		治医に相談し服薬調整等もしながら下痢便秘の予防をしている。			
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望時間のある人は希望に合わせているが、希望の無い人も含めある程度日中の時間帯の範囲での入浴になってしまっている。自立で入浴できる方も居て、見守りで入浴している方も居る。入浴剤や湯温も考えている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さん同士で一緒に居たくて自然と皆さん居間に居る事もあって一定の流れになってはいるが職員がそう決めているわけではなく、起床時間、入所時間、日中の休息、食事時間等個々様々に生活されている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が服薬管理をしている。服薬介助時は職員が声を出して確認し、その方の能力に合わせた介助をしている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の身体認知レベル等により個々に同じではないが出来る事をやって頂いている。楽しみや気分転換という意味でコロナにより外出等あまり出来ていない部分もあるが、外出が難しい分室内で楽しめるイベントを多く考えている。食事やおやつを皆さんの食べたい物を聞いて取り入れている。	コロナ過ではありますがその中で出来る事の工夫をしていると思います。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は活発に行っていたが、コロナによりあまり外出が出来ていない。行くとしても車から降りずにドライブや近場の散歩など。	コロナ過ではありますが徐々に落ち着いて来て、これからもっと出来る様になっていければ良いと思います。ほぼ出来ているという所かと思います。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に沿って使う事は出来るが、預り金と言う形でGHで金庫に保管している。別で小銭やお札を持っている方も居たが最終的に紛失してしまう事がほとんどで、今は全てGHで管理している。コロナにより外で使いたい事柄に対しては不自由になっている部分が多い。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	時々電話をしたり手紙のやり取りをしている方もいるが、自ら電話をしたいと訴える方はほぼ居ない。相手方が忙しい事が多く、本人がその様な訴えをしてもあまり連絡しないで下さい、と言われる身内の方も少なくない。携帯電話を持っている方は好きな時に喋っている様子。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内、敷地内の危険のリスクがある所は気付いた時点で修正する様に対応している。季節感を感じられるように壁画の工夫をしている。その物は基本利用者さんに作って頂いている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナにより外出関連が不自由になっている所もあるが、生きて行く上での本人の想いを最大限に尊重している。看取り介護もその一つだと思っている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナにより外部の人と会うという事には制限があるが、生活上の習慣や特徴を少しでも把握してケアに生かすようにしている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんの日々の変化に職員は注視しており、家族、主治医とも良好な関係で連携を取れている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外へ行きたい事に関してはコロナにより制限があり我慢している部分がある。他の部分では認知症状や身体機能も考えた上で思うように生活出来ていると思う。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時から家族さんにお願いしてなるべくなじみの物を持って来て頂くようにお願いしている。転倒や異食等事故のリスクが無い物に関してはなるべく置いて頂いている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に沿う様に努めているが、外での催事や外出全般に関してはコロナにより制限がある。室内イベントに関しては皆さん参加する事が多いが、気が乗らない等の時はそれも本人の意向としてとらえ無理に参加してはいない。時々散歩やドライブは出来ている。	これもコロナにより出来ないという所かと思います。今時点ではほぼ出来ているという所かと思います。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特には家事的な事が多いが、皆さんの出来る範囲で行っている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に活動が多い方少ない方が居るがそれも含めて皆さんマイペースな生活は出来ている。ユーモアを意識して楽しく職員と利用者さんが喋ったり遊んだりしている事が多い。利用者さんから職員へ冗談を言う事もある。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナにより今は無いが、町内会のレクの参加や近隣小学校から運動会や学芸会に招待してもらったり、小学生がホームへ来て歌や出し物の披露、プレゼントを頂いたりと本来は多く交流機会がある。	これもコロナによりかなり出来ないものが多いと思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との親しみはあるが、地域の方との交流は、今はほとんど無い。コロナにより特に地域の方との接点が無くなっている。	これもコロナが無ければもっと変わるかもしれませんね。	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	